



本願寺山陰教堂本堂



第 28 号

山陰教区
寺族婦人会連盟

題字：鷺谷良子

一年半を振り返って

山陰教区寺族婦人会連盟副委員長

高橋千登世
(千須賀組 高善寺)

令和6年4月より山陰教区寺族婦人会連盟の副委員長を務めさせていただきました。早一年半が過ぎました。その間平尾委員長、亀井副委員長、常任委員の皆様と協力し、会を運営させていただきました。ありがとうございます。

この一年半を振り返り、筆を執らせていただきます。

令和6年4月の代表者会では、通常の総会のように、事業報告、会計報告がありました。その時存在を知ったのがダーナ会計でした。令和2年度開設と書かれてありました。令和2年はコロナ禍で代表者会が開かれず、各組の周知も不十分だったようです。遅ればせながら、令和6年度より組として献金させていただきました。国内外問わず、災害の多い昨今です。奨励をさせていただきたいと思えます。

令和6年10月には、教区若寺族人研修会を私の組で担当させていただきました。令和6年1月の能登半島地震を受けての研修です。講師は広島別院より、災害支援センターに

兼務職員として出向されている坂山頭之先生にお願いし、生の声を拝聴いたしました。私の寺は、江の川増水時の避難所に指定され、これまで3回の避難所開設がありました。幸いに1泊で解除となりましたが、避難された方が異口同音に仰るのは「一睡もできなかった」と。不安と慣れない場所での集団行動は大変です。長期にわたる石川で被災された方々のご心労を思うと、微力ながら支援させていただきたいと思えました。

そして、各種研修会では多数のご参加をいただいたこと、担当組のお世話になり、おかげさまで心に残る研修会ができました。ありがとうございます。

また、教務所の常例法座の開催日の午前今年度4月の代表者会と5月の常任委員会を行い、午後は常例法座をお聴聞させていただきました。

尊いご縁の数々に感謝し、残りの任期を務めさせていただきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

若寺族婦人研修会

期日：9月6日(土)
会場：ラピタウエディングパレス3階天雅(出雲市)

「若寺族婦人研修会に参加して」

神門組 正應寺 藤原恵子

9月6日、今年度の研修会が出雲市で開催され、家族の協力もあり、参加させていただきました。

この度は、安芸教区広陵西組善法寺坊守の前田純代先生から「あなたは何色の花ですか？」というテーマでお話をいただきました。

先生は、『結婚してお坊さんになりました』を執筆された方で、直接お話を伺えるまたとない機会と思ひ、とても楽しみにしていました。

先生はお寺のご出身ではなく、結婚を機に中央仏教学院で学ばれ、僧侶になられたご自身の経験やメッセージを難しい言葉ではなく、とてもわかりやすい言葉で伝えてくださいました。日常の何げない一コマにも、仏様のはたらきを感じながら、普段執筆をされているとのことでした。

テーマについては、『仏説阿弥陀經』のご文を引用しながら説いてくださいました。それぞれの個性を生かし、小さなことから少しずつ、自分にできる

ことをやっていくことが大切であると学ばせていただきました。

私自身、これからでもできる限りお聴聞を重ね、お念仏と共に歩ませていただきたいと思ひます。そして、次の世代にも伝えていくことができたなら、という思いを新たにしました。

お話の最後には、質疑応答の時間も設けていただき、参加者の質問に熱心に耳を傾け、親切丁寧に答えてくださいました。「聞くことが大事である」との言葉を実践されているのだなあと思ひました。

また、今回、参加者同士の交流もみられ、ご一緒に有意義な時間を過ごすことができました。先生が「今日は肩の荷物を降ろして(軽くして)帰ってくださいね」と優しく仰っていました。まさにそんな気持ちで会場を後にしました。

研修会の有難いご縁をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和7年度(4月~12月) ダーナ献金のご報告

ダーナ献金をお寄せいただいた皆様

- 鳥取因幡組寺族婦人会 様
- 松江組寺族婦人会 様
- 出雲南組寺族婦人会 様
- 飯南組寺族婦人会 様
- 大田中組寺族婦人会 様
- 佐波組寺族婦人会 様
- 川本組寺族婦人会 様
- 千須賀組仏教婦人会 様
- 江津組寺族婦人会連盟 様
- 若寺族婦人研修会参加者の皆様
- 寺族婦人研修会参加者の皆様

より合計123,460円お預かりしました。

災害発生時等の際に様々な形で支援できる資金として、今後も皆様のご協力をお願いいたします。



若寺族婦人研修会のようす

「寺族婦人研修会に参加して」

鳥取因幡組 光賢寺 西池真知子

先般、寺族婦人会と仏教婦人会の合同研修会に参加し、映画『ドキュメンタリー沖繩戦 知られざる悲しみの記憶』を鑑賞させていただきました。この映画は、日本で唯一地上戦が繰り広げられた沖繩戦を体験者や専門家の方の証言をもとに、終戦75年の節目に浄土真宗本願寺派によって製作されたものです。

私自身、この映画を観るのは2度目でした。沖繩戦を体験された方の体験談を伺うと、対馬丸の襲撃や集団自決の話など、体験談を話してくださいっている方はどの方も当時は小さな子どもでありながら、想像を絶する体験をされておられ、何度観ても胸が締め付けられると同時に戦争の恐ろしさを痛感します。映画の中で、「悲しみと憎しみだけが残った」、「同じ悲しみを繰り返さないために伝えていく」という言葉が特に印象に残りました。実際に経験された方の言葉には大変重みがあり、戦争の体験を話すのはどれだけの覚悟があることだろうと考えると、二度と戦争をしてはいけないという多くの方々の想いが伝わってきます。今年には戦後80年です。沖繩戦での悲しみの記憶を決して風化させてはけないと強く思いました。そのためには、戦争について学びを深め、体験された

方の話を伺い、次の世代に伝えていくこと、二度と戦争を起こしてはいけないという強い思いをもって、お互いを認め合い尊重し合いながら、思いやりのある行動に移していくことが大切だと感じています。

私がお預かりしているお寺の前任職は、この映画を作るきっかけとなった一人と聞いています。6月23日の「慰霊の日」には、平和を願い、鳥取から沖繩を訪れ、ひめゆりの塔から平和記念公園までを歩く「平和大行進」に毎年参加していたそうです。しかしながら、8年前、映画の完成を待たずに、往生されました。

この度の研修会は、前任職が伝えたかったことにも思いを馳せながら、平和について深く考える尊い機縁となりました。世界では現在も、ウクライナやイスラエル・パレスチナなどで戦争や紛争が継続しています。一日でも早く世界中の人々が安心して暮らせる平和な世の中になってほしいと心より願っています。



「寺族婦人研修会に参加して」

益田組 蓮長寺 藤谷邦枝

2025年10月8日 寺族婦人仏教婦人合同の研修会が出雲ビッグハートにて開催され、各組から多くの参加者がありました。

初めに晨教務所長より、「この映像は10年間に亘って計画され、5年前に現地の方々のお声を聞いて作られたものです。本山も戦争に加担した事は事実です。これを機会に共に学びましょう。」とのお話がありました。

そういえば、私のお寺でも戦時中、梵鐘、喚鐘、その他金属性の仏具を供出した事を証明する写真が残っていました。どんなことに使われたのか不明ですが、きつとその当時必要だった物に変わったのでしょうか。

私は戦後に生まれたので戦争の体験はありませんが、戦地から帰国した父や、戦争を体験された周りの方から少しだけ戦争での出来事を聞く事はありました。

今回、沖繩戦の映画を見て、以前この地を旅行した時に受けた強い衝撃を思い出しました。最初に訪れた平和の礎には24万人以上のお名前が刻まれ、すべてが沖繩戦によって亡くなられた方々であり今もなお追加されているとのことでした。

ひめゆりの塔では、看護要員として動員された多くの若い女生徒たちの最後は自決でしかなかった事、また激戦

地摩文仁の丘では、米軍による爆撃や、集団自決、断崖絶壁からの飛び降り等で多くの方が亡くなった事を知り、そして、多くの方々の犠牲の上に今の私たちの平和がある事を学びました。身を潜め生きてこられた方が沈黙を破り語ってくださいました「生きて辱めを受けず」の中、お互いの命を奪い合ったり、自決したり、最後に死を選ばなかった事で自分は生きている、なぜ自分は生きていくのか、生き残った事への反省と後悔で苦しんでこられました。ご存命の方が少なくなつた今、戦争での悲劇を後世に語り繋ぎ、誰もが平和に暮らす為にと声を出してくださいました。

戦争は絶対してはならない 戦争に加担してはならない 戦争の悲劇を知り後世に伝える 二度とこのような歴史的事実を繰り返さない為に今、私達が出来ることです。

敗戦から80年経ちましたが、沖繩の地には未だに亡くなった方の遺骨が現地に多く残されており、遺族や亡くなられた方の思いを叶える為、遺骨の収容をされている方がおられることを紙面で知りました。一人ひとり大切な生命として生まれてきた筈。私達の命は阿弥陀様の願いの中に生かされています。世の中安穏なれ、安穏なれ

各組紹介

神門組 (清龍寺 亀井京子)

神門組は、旧出雲市街地と周辺からなる地域の寺院で構成されています。寺族婦人登録数27か寺と教区で一番多いですが、諸事情もあり、全員参加はなかなか難しいのが実情です。

年間の活動は、年度当初の組内ご住職のご講話を併せた総会と、1~2回の研修会です。その内、3年に一度は組外の寺院参拝を中心にその近隣の観光を兼ねた

1日研修を行っており、会員間の親睦も深めています。

コロナ禍を過ぎ、人と人との繋がりの大切さを思う時、寺族婦人間相互でも共に一念仏の歩みを一層進めていこうと思っているところです。

目に留まる観光地には、まず出雲大社、日本海側に重要文化財の日御碕灯台、日本の夕陽百選のキララビーチ、山陰の耶馬溪といわれる立久恵峡等々があります。お近くにお越しの際は、お立ち寄りください。



出雲南組 (専応寺 龍谷直美)

出雲南組は雲南市と出雲市の寺院9か寺で活動しています。

春と秋には集まって研修を行っています。

春には組内研修として、各寺院を会所にご住職のご法話を聴聞させていただいたり、ご講師をお招きして作品作りをしたりと、会所の坊守様に毎年いろいろ考えていただきとても楽しい時間を過ごさせていただいています。

秋の研修は春と違って組外へ皆様と一緒に出掛けています。交流も兼ねて秋は必ず美味しい物を昼食に食べることもしています。

今年は初めて山陰教堂の報恩講へ参拝しました。また、今後も皆様と一緒に研修を通して情報交換など行っていきたくと思っています。

出雲南組内には桜で有名な斐伊川堤防桜並木や三刀屋川の河岸には御衣黄という淡い緑色の桜が咲きます。出雲市佐田町には八雲風穴もあります。お近くにお越しの際はお立ち寄りくださいませ。

千須賀組

(高善寺 高橋千登世)

千須賀組寺族婦人会は飯南町2か寺、邑南町4か寺、美郷町4か寺の10か寺で構成されています。

活動としては、総会と任期中に一回の研修旅行を行っています。総会では会所は順番制となっております。組長様か会所ご住職様のお話をいただきます。研修旅行では、有福の善太郎さんと温泉津の才市さん縁のお寺に参拝させていただいたのが初回でした。その後、精進料理では宗派の違うお寺2か寺、岡山のお寺、芸北のイタリアンのお寺に行きました。私は参加できませんでしたが、金子みずぶさん縁の山口へも研修がありました。

近年では僧侶研修会合同で鹿児島のかくれ念仏や別院参拝がありましたが、その後コロナ禍の影響で研修旅行には行けませんでした。

来年度には、総会を寺院を離れて久々の昼食をいただきながらの開催を計画しています。小さな会ですが、これまでの先輩方のご尽力に感謝し、引き継いで活動を行っていきたくと思います。

江の川沿いの風光明媚な景色をご覧に、ドライブにお出かけ下さい。天空の駅宇都井は全国から来客があります。お越しくださいませ。

邑智西組 (天藏寺 ^{つだひろこ}津田浩子)

私たちの組は、12ヶ寺の寺婦が会員となり、ささやかな活動をしております。

7月に、近くの介護施設にて、仏具のおみがきの後、昼食を共にしながら総会をします。今後の寺婦の活動について、思い思いの意見を気楽に出し合い、検討し、新しい一歩を踏み出そうという前向きで積極的な気持ちになれるので、総会と昼食を兼ねるのは良いアイデアだと毎年続いています。

コロナの影響でしばらくできませんでしたが、介護施設での利用者の方々とのふれあひも復活してきています。

その他、近くの別院や寺院で特別の行事があり、お聴聞の機会があれば、誘い合わせ、乗り合わせで出かけます。

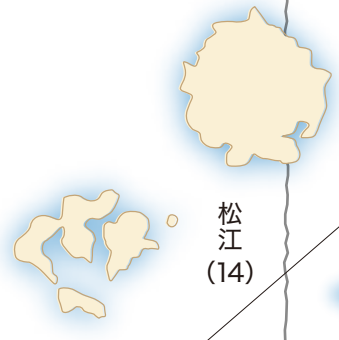
今年は、広島山県東組の仏教講演会と広島別院報恩講へ参拝しました。行きたいけど一人では行けない、行きづらい方も、みんなとなら出かけやすく、

またみんなで食事やショッピングなどの楽しみも加わり、親睦を深める機会ともなっています。

また、年数回「寺婦便り」を発行し、各寺へ送付しています。それぞれの事情で行事に参加できない方も少なくありません。そんな中で、会の活動を知り、参加の意欲を高める大切な役割を担っています。

次なる取り組みとしては、仏教讃歌のサークルを作る、YouTubeでのお聴聞をみんなで集まってするなどを考えています。

邑智西組あたりの見どころは、香木の森があります。その近くには、ソフトクリーム専門店があり、絶品です。是非一度食べてみてください。少々お値段ははりますが・・・。



益田組 (光明寺 ^{ひらおまさこ}平尾雅子)

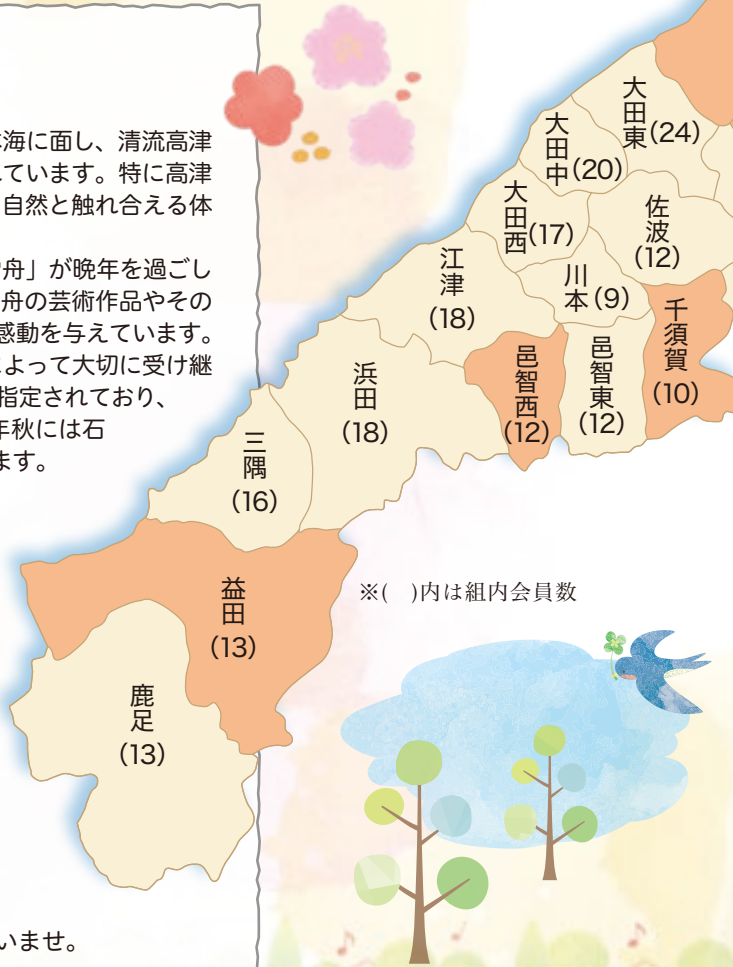
益田市は県西部に位置する自然豊かな町です。日本海に面し、清流高津川が流れるこの地は、四季折々の美しい風景に恵まれています。特に高津川は「日本一の清流」と称され鮎釣りや川遊びなど、自然と触れ合える体験が魅力です。

また、歴史と文化も深く、室町時代の水墨画家「雪舟」が晩年を過ごした地として知られています。雪舟の郷記念館では、雪舟の芸術作品やその生涯について学ぶことができ、訪れる人々に文化的な感動を与えています。さらに、伝統芸能の石見神楽が盛んで、地域の人々によって大切に受け継がれています。石見神楽は国の重要無形民俗文化財に指定されており、華やかな衣装と迫力ある舞で観客を魅了します。毎年秋には石見神楽の公演や祭りが開催され、多くの観光客が訪れます。

近年では、「柴犬の発祥の地」とされ、お祭りなどにも参加し、武者行列の最後尾に多くの柴犬が参加し、中には兜や鎧を着けた柴犬がいて驚きました。

そんな魅力満載の益田市の中で私たちは活動させていただいております。1期3年の任期を終えると誰もが会長職に就かせていただき、会長の手腕により研修内容も変わってきます。それも又楽しみの一つです。コロナ前は任期終わりには一泊旅行に行っておりましたが、最近は日帰り旅行になりましたが日々のストレス発散をさせていただいております。また、連絡方法もグループラインを使って連絡を取り合って時間短縮、経費削減を目指しております。

益田にお寄りの際には、どのお寺も坊主様が温かく迎えてくださいますので、どうぞご来寺くださいませ。



※()内は組内会員数

2024(令和6)年度 山陰教区寺族婦人会連盟 一般会計 歳計決算 歳入の部

Table with 6 columns: 款項, 費目, 決算額, 予算額, 対比△減, 説明. Rows include 前年度繰越金, 会費, 助成金, 回金, 参加費, 雑収入, and 合計.

歳出の部

Table with 6 columns: 款項, 費目, 決算額, 予算額, 対比※超過, 説明. Rows include 研修費, 会議費, 事務通信費, 教化費, 回金, 諸費, 予備費, and 合計.

Summary table with 2 columns: 歳入, 歳出, 差引残額. Values: 933,488, 637,842, 295,646.

※翌年度へ繰越

2024(令和6)年度 山陰教区寺族婦人会連盟 特別会計 歳計決算 歳入の部

Table with 6 columns: 款, 費目, 決算額, 予算額, 対比△減, 説明. Rows include 前年度繰越金, 回金, 雑収入, and 合計.

歳出の部

Table with 6 columns: 款, 費目, 決算額, 予算額, 対比※超過, 説明. Rows include 回金, 翌年度繰越金, and 合計.

2024(令和6)年度 山陰教区寺族婦人会連盟 ダーナ会計 歳計決算 歳入の部

Table with 6 columns: 款, 費目, 決算額, 予算額, 対比△減, 説明. Rows include 前年度繰越金, ダーナ献金, 回金, 雑収入, and 合計.

歳出の部

Table with 6 columns: 款, 費目, 決算額, 予算額, 対比※超過, 説明. Rows include ダーナ活動費, 翌年度繰越金, and 合計.

2025(令和7)年度 山陰教区寺族婦人会連盟 一般会計 歳計予算 歳入の部

Table with 6 columns: 款項, 費目, 2025年度予算, 2024年度予算, 対比△減, 説明. Rows include 前年度繰越金, 会費, 助成金, 回金, 参加費, 雑収入, and 合計.

歳出の部

Table with 6 columns: 款項, 費目, 2025年度予算, 2024年度予算, 対比△減, 説明. Rows include 研修費, 会議費, 事務通信費, 教化費, 回金, 諸費, 予備費, and 合計.

2025(令和7)年度 山陰教区寺族婦人会連盟 特別会計 歳計予算 歳入の部

Table with 6 columns: 款, 費目, 2025年度予算, 2024年度予算, 対比△減, 説明. Rows include 前年度繰越金, 回金, 雑収入, and 合計.

歳出の部

Table with 6 columns: 款, 費目, 2025年度予算, 2024年度予算, 対比△減, 説明. Rows include 回金, 翌年度繰越金, and 合計.

2025(令和7)年度 山陰教区寺族婦人会連盟 ダーナ会計 歳計予算 歳入の部

Table with 6 columns: 款, 費目, 2025年度予算, 2024年度予算, 対比△減, 説明. Rows include 前年度繰越金, ダーナ献金, 回金, 雑収入, and 合計.

歳出の部

Table with 6 columns: 款, 費目, 2025年度予算, 2024年度予算, 対比△減, 説明. Rows include ダーナ活動費, 翌年度繰越金, and 合計.

※残金は基金として翌年度へ繰越

編集後記

○寺婦のひろば第28号をお届けいたします。一年が経つのはあっという間であり、令和7年も様々なことがありました。特に今年は、阪神・淡路大震災から30年、戦後80年という節目の年でもありました。また、4月から大阪・関西万博が開催され、訪れた方もいらっしゃるかと。12月は忙しい時期でもあるかもしませんが、少し時間を作ってこの一年の世の中の出来事、お寺の出来事、そして自身を振り返ることも大切ではないでしょうか。そして新しい年を迎えるにあたり、一つ目標を決めてみてはいかがでしょうか。